

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 水害等に関する機械借上事業	水害等により市道等の土砂崩壊等が発生したときに、機械借上のために支出する。	機械借上件数	件	8	98	21	20
② 水害等に関する原材料支給事業	水害等により市道等の土砂崩壊等が発生したときに、原材料支給で対応を図る。	原材料支給件数	件	2	15	6	20
③ 水防関係団体負担金支出業務	水防事業の負担金として、関係団体に対し支出を行う。	負担金支出件数	件	2	2	2	2
④ 水防会議事業	出水期前に、会議を行う。	開催回数	回	1	1	1	1
⑤ 水防待機事業	警報発令時に、水防待機班を設置する。	水防待機設置回数	回	4	0	0	4

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 災害復旧率	当該年度の災害復旧箇所／当該年度の災害箇所数×100	%	100	100	100	100
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) B	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	/
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	総務課等関係部署との連携をとり、緊急時の対応を図りながら現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	関係機関と連携を図り、緊急時等の体制強化に努める。	評価責任者 三次 祐二
------------------	---------------------------	----------------